

最高出力680PSと純粋な電気駆動による49kmの航続距離を備えた新しいスポーツツーリスモが登場

プラグインハイブリッドを搭載した最もパワフルなスポーツツーリスモ

ポルシェはパワフルなプラグインハイブリッドモデルをパナメーラスポーツツーリスモに追加します。新たなフラッグシップモデルとなるニューパナメーラターボS E-ハイブリッドスポーツツーリスモは4リッターV8エンジンと電気モーターを兼ね備え、システム最高出力500kW/680PSを発生します。850N・mの最大トルクはアイドリング時の回転数を少し超えた時点から発生します。0 - 100km/h加速タイムは3.4秒をマークし、最高速度は310km/hに達します。しかも平均燃料消費量（新欧州ドライビングサイクル、NEDC）は3.0リッター/100kmです。この最もパワフルなスポーツツーリスモは、電気モーターのみの走行（ゼロ・ローカルエミッション）で最大49kmの航続距離を誇ります。パナメーラターボS E-ハイブリッドスポーツツーリスモをこのセグメントの中で際立たせているのは、性能と効率性のバランスだけではありません。大型のテールゲート、低いローディングエッジ、拡張したラゲッジコンパートメント容量、そして4+1シート構成を含む空間コンセプトによって、この新しいフラッグシップモデルの実用性が高い水準にあることを示します。ポルシェは、ユニークなデザインや優れた実用性を、最高の性能および効率性と結び付けます。

3.4秒の0 - 100km/h加速タイム

ポルシェは、パナメーラスポーツサロンのフラッグシップモデルと同様に、スポーツツーリスモによってハイブリッドテクノロジーの高いポテンシャルを証明します。パナメーラターボS E-ハイブリッドスポーツツーリスモに使用されているブーストプログラムは、ポルシェのスーパースポーツカーであるポルシェ918から受け継いだものです。V8ツインターボ（404kW/550PS）と電気モーター（100kW/136PS）は、1,400rpmから850N・mのシステム最大トルクを発生します。ハイブリッドモジュールに統合されたデカプラーは、電気クラッチアクチュエーターを介して電気機械的に作動します。その結果、短いレスポンスタイムと高い快適性を実現しています。高速でシフトする8速ポルシェ

ドッペルクップリング（PDK）は、標準装備されるアダプティブ4WDシステムのポルシェトラクション マネジメントシステム（PTM）にパワーを伝えます。E-パフォーマンスドライブによって0 - 100km/h加速タイムは3.4秒をマークし、さらに静止状態から200 km/hまでをわずか8.5秒で加速、最高速度は310km/hに達します。この高い水準にもかかわらず、プラグインハイブリッドモデルは非常に効率的で、新欧州ドライビングサイクルによる燃料消費量は3.0リッター/100km、電力消費量は17.6kWh/100kmです。パナメーラターボS E-ハイブリッドスポーツツーリスモは、電気システムのみでの走行で最大49kmの航続距離を実現し、最高速度は140km/hに達します。容量14.1kWhのリチウムイオンバッテリーは、チャージャーと電源に応じて2.4 - 6時間で充電できます。

ユニークなデザイン、アダプティブ

ルーフスポイラー、および4+1シートコンセプト

パナメーラターボS E-ハイブリッドスポーツツーリスモは、第2世代パナメーラの全てのイノベーションを提供します。ここには、デジタル化されたポルシェアドバンストコックピット、あるいはアダプティブクルーズコントロールを含むオプションのリアアクスルステアリングなどの革新的なアシスタンスシステムが含まれます。さらに、このセグメントでは珍しい、走行条件と選択した車両設定に応じて3つの角度に切り替わるルーフスポイラーもこうしたイノベーションに加わります。このルーフスポイラーはリアアクスルに

最大50kgのダウンフォースを加えます。走行速度が170km/h以下のときは、ポルシェアクティブエアロダイナミクス（PAA）の中心コンポーネントであるダイナミックガイドエレメントが-7度の格納ポジションに維持され、ルーフラインに沿って後方に傾斜します。速度が170km/hを超えるとルーフスポイラーは自動的に+1度のパフォーマンスポジションにセットされ、走行安定性と横方向のダイナミクスを高めます。スポーツ/スポーツプラスモードを選択して90km/hを超えるとルーフスポイラーは自動的にパフォーマンスポジションに移動します。90km/h以上のときにパノラミックスライディングルーフを開くと、PAAのアクティブなアシスタンスによってルーフスポイラーが+26度の角度に調節され、乱気流を低減します。

コンセプトについても、このトップエンドモデルは、斬新なデザインから生じるあらゆるメリットをニュースポーツツーリスモモデルへ提供します。スポーツサルーンに比べて高くなったルーフラインによって後席の乗降が容易になり、ヘッドルームも増大しています。標準装備で電動となるワイドな開口部のテールゲートと、わずか628mmのローディングエッジがラゲッジコンパートメントの使いやすさに寄与します。また、パナメーラターボS E-ハイブリッドスポーツツーリスモは3席のリアシートを装備します。最高の乗員快適性を備えたスポーツ性能というモデルラインの要求に合わせて、リアシートには両サイドが分かれた2+1シート構成が採用されています。さらにオプションで独立した2席の電動リアシートをオーダーすることもできます。パナメーラターボS E-ハイブリッドスポーツツーリスモの収納スペースは、リアシートの上端まで積み込むと425リッターにもなります。3つのリアシートのバックレストを全てまたは個別（40：20：40分割）にラゲッジコンパートメントから電動でロック解除して格納することもできます。このとき収納スペースは1,295リッターまで拡張されます。

セラミックブレーキを含む広範な標準装備

パナメーラターボS E-ハイブリッド

スポーツツーリスモの広範な標準装備には、例えば、ポルシェトルクベクトリングプラス（PTV

Plus）リアディファレンシャルロックを含むロール安定化システムのポルシェダイナミックシャシーコントロールシステム・スポーツ（PDCCスポーツ）、高性能ブレーキシステムのポルシェセラミックコンポジットブレーキ（PCCB）、911ターボデザインの21インチ軽合金製ホイール、パワーステアリングプラス、スポーツクロノパッケージ、および補助エアコンが含まれます。最高出力324kW（440PS）以上を発生するパナメーラ4Sスポーツツーリスモより上位のモデルと同様に、新しいトップエンドモデルもポルシェアクティブサスペンションマネジメントシステム（PASM）を組み込んだアダプティブ3チャンバーエアサスペンションを装備し、高水準のドライビングダイナミクスと走行快適性の間の領域を広げます。